

「千葉県版熱中症警戒アラートモデル事業」令和4年度実施結果概要

環境研究センター（千葉県気候変動適応センター）は、令和4年7月1日（金）から同年9月30日（金）まで、新規事業として、県内6公園において「千葉県版熱中症警戒アラートモデル事業」を実施しました。

実施概要

（1）【暑さ指数の測定】右の図で示した6公園に、暑さ指数計等を設置し、その値をリアルタイムに把握しました。

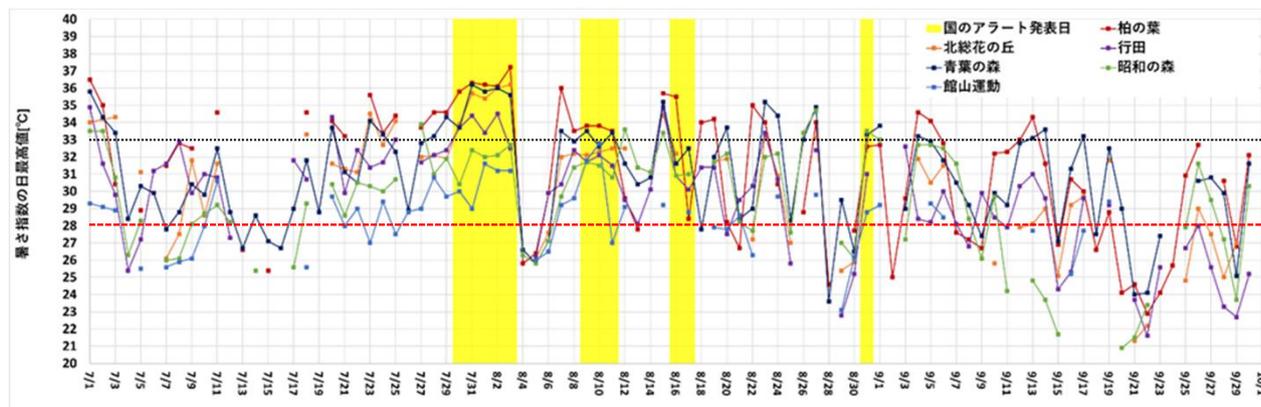
（2）【注意喚起の放送】暑さ指数が熱中症発生の懸念されるレベル（28以上）となった場合に、来園者に対し、熱中症予防策の実施について、園内放送で呼びかけました。

（3）【実施結果の公表】本事業で測定した暑さ指数と国が情報提供した暑さ指数との関係を整理するなどし、その結果をホームページで公表しました。



結果概要

- ・実施期間を通し、各公園における暑さ指数（日最高値）が28以上となる日が多くありました。
- ・国による熱中症警戒アラートが千葉県に発表された日（下の図において黄色で示した日）以外であっても、暑さ指数が33以上となる日があり、局所的に熱中症の危険性が極めて高い環境になる場合があることが分かりました。



各公園における暑さ指数の日最高値の推移

（暑さ指数28 -----：本事業における注意喚起の実施基準／暑さ指数33：国による熱中症警戒アラートの発表基準）

- 場所（スポット）によって暑さ指数は異なることから、外出時には熱中症対策をいつでも行えるよう備えることが大切です。
- 屋外施設の管理者や屋外イベントの運営者は、現場の暑さ指数を測定し、来場者に適切に注意喚起を行うことが望めます。

実施結果の詳細は、千葉県気候変動適応センターのホームページ内「「千葉県版熱中症アラートモデル事業」（令和4年度）の実施について」

（<https://www.pref.chiba.lg.jp/wit/tekiou/chibakenban-alert.html>）で公表しているほか、当センターのYouTubeチャンネル「環境情報チャンネル」内に、「【2022夏】暑さ指数測定＆園内放送！公園とのコラボ！～千葉県版熱中症警戒アラートモデル事業～」（https://youtu.be/NvDjv_Ohdyo）として掲載しています。